

## 2025年6月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月4日

上場会社名 アクモス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6888 URL <https://www.acmos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 飯島 秀幸

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 末國 真一

TEL 03-5539-8800

半期報告書提出予定日 2025年2月14日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年6月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年7月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	2,730	3.5	33	81.2	33	81.7	8	92.4
2024年6月期中間期	2,638	3.8	180	17.4	181	19.5	113	17.9

(注) 包括利益 2025年6月期中間期 4百万円 (96.2%) 2024年6月期中間期 112百万円 (20.9%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期中間期	0.87	
2024年6月期中間期	11.61	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期中間期	4,912	3,270	60.8
2024年6月期	5,261	3,460	60.2

(参考) 自己資本 2025年6月期中間期 2,984百万円 2024年6月期 3,165百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期		0.00		24.00	24.00
2025年6月期		0.00			
2025年6月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	12.4	700	6.0	700	6.0	450	6.4	45.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年6月期中間期	10,215,400 株	2024年6月期	10,215,400 株
期末自己株式数	2025年6月期中間期	266,343 株	2024年6月期	354,143 株
期中平均株式数 (中間期)	2025年6月期中間期	9,878,341 株	2024年6月期中間期	9,802,271 株

第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日、以下「当中間期」という。)におけるわが国経済は緩やかな回復が見られるものの、中国の景気減速、国際関係の緊張の高まりや物価の上昇、人手不足感の高まりにより先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業を取り巻く環境は、近年の大規模災害の発生を契機とした消防防災分野への関心の高まりや、デジタル産業基盤強化のためのデジタル人財の育成・確保が課題となっております。足元でも特にネットワークやクラウド技術をもつ人財は不足しております。当社ではエンジニア職の新卒採用社員に対する1年間の研修期間を設けるほか、職位に応じた研修を実施し、事業の成長に欠かせない優秀な技術者の確保と育成に取り組み、積極的な人財への投資を行っております。

当期から開始した中期経営計画2027(2024年7月～2027年6月)においては最終年度の連結売上高100億円到達を目標とし、収益性、成長性の高い事業である消防防災事業及びネットワーク事業に対し集中して具体的な取り組みを進めております。また、人財採用を強化し、3年間で200名以上の採用を目標に取り組んでまいります。

当中間期の売上高は2,730百万円(前年同期は2,638百万円、前年同期比3.5%増)、営業利益は33百万円(前年同期は180百万円、前年同期比81.2%減)、経常利益33百万円(前年同期は181百万円、前年同期比81.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は8百万円(前年同期は113百万円、前年同期比92.4%減)となりました。前年同期に対し受注高は3.2%増加しており、当中間期末の仕掛品は438百万円(前年同期末は378百万円)、前年同期末に対し59百万円増加しております。

新卒採用を段階的に増やし、また新卒社員の教育期間を1年間として人財への積極的な成長投資を進めていることから人件費が14.1%増加しており、その他経費増もあり販管費が前年同期に対し13.5%増加いたしました。

各セグメント別の状況は以下のとおりです。

#### (ITソリューション)

当中間期は前期第3四半期末から連結した株式会社プライムシステムデザインの損益が加わっており前年同期比で増収となりましたが、主として人件費の増加による経費増により営業損失となりました。受注高は前年同期に対し13.3%増加しております。消防防災ソリューションでは全国展開において他社との協力体制を強化し、四国地方で当期完了予定案件が仕掛となっているほか、東北地方で当期首より作業期間が1年を超える案件を手掛け、進捗に応じて売上を計上しております。自治体ソリューションのクラウド化を推進し、自動車の整備事業者や所有者等が自動車税の納付状況を確認できる「車検用納税確認支援システム」や、教職員向け勤怠管理クラウドサービス「AttRec(アトレコ)」を全国の県、市町村へ展開できるよう拡販に取り組んでおります。当中間期の売上高は1,631百万円(前年同期は1,462百万円、前年同期比11.5%増)、営業損失27百万円(前年同期は営業利益91百万円)となりました。

#### (ITインフラ)

地方公共団体による情報管理システムのネットワーク基盤リプレースなど大型の入札案件をほぼ予定どおり受注できており、構築、運用を中心に堅調に推移しました。標的型攻撃メール訓練サービス「SYMPROBUS CoTra Enterprise」では新たに生成AIによる訓練メールテンプレートの自動作成機能を追加し、セキュリティ教育コンテンツの更新等お客様のご要望の多い機能の充実を図りました。また、首都圏での受注拡大を目指し、営業体制を強化しております。受注残高は前年同期末に対し26.6%増加いたしました。当中間期の売上高は427百万円(前年同期は509百万円、前年同期比15.9%減)、営業利益は36百万円(前年同期は73百万円、前年同期比49.8%減)となりました。

#### (ITサービス)

第三者保守サービスでは、パーツ販売がお客様の在庫調整の影響から回復傾向にあり、保守・レンタルも概ね堅調に推移しました。病院情報システム維持管理では運用業務が堅調に推移しており、売上高は前年同期比で11.2%増加し、ほぼ想定どおりの進捗となりました。当中間期の売上高は693百万円(前年同期は668百万円、前年同期比3.7%増)、営業利益は53百万円(前年同期は44百万円、前年同期比20.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末から349百万円減少し4,912百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少708百万円の一方、仕掛品の増加355百万円があったことによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は前連結会計年度末から159百万円減少し1,641百万円となりました。これは主に、買掛金の増加151百万円、賞与引当金の増加41百万円の一方、未払金の減少81百万円、未払費用の減少244百万円、未払法人税等の減少57百万円があったことによるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末から189百万円減少し、3,270百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益8百万円、資本剰余金の増加39百万円、自己株式の処分による増加9百万円の一方、配当金の支払い236百万円があったことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から703百万円減少し、2,230百万円となりました。各キャッシュ・フローの区分の状況とその要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は457百万円(前年同期は553百万円の支出)となりました。これは主に、棚卸資産の増加374百万円、法人税等の支払額93百万円、未払費用等その他流動負債の減少169百万円があった一方、仕入債務の増加151百万円、賞与引当金の増加41百万円、税金等調整前中間純利益33百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は22百万円(前年同期は18百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6百万円、無形固定資産の取得による支出7百万円があった一方、投資有価証券の償還による収入30百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は268百万円(前年同期は109百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出37百万円、配当金の支払額234百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2024年8月5日付の「2024年6月期決算短信」にて公表いたしました2025年6月期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、配当に関しては、2024年8月5日付の「配当方針の変更(累進配当の導入)及び剰余金の配当に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、中期経営計画2027の期間(2024年7月1日～2027年6月30日)においては、累進配当を導入し、前年実績の水準に対して維持又は増配することを基本方針としております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,042,935	2,334,541
受取手形及び売掛金	839,664	925,048
商品	340,052	359,118
仕掛品	83,472	438,518
その他	112,685	84,449
貸倒引当金	△684	△684
流動資産合計	4,418,125	4,140,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	356,502	357,066
減価償却累計額	△183,967	△189,804
建物及び構築物(純額)	172,535	167,261
工具、器具及び備品	230,545	224,549
減価償却累計額	△185,301	△182,830
工具、器具及び備品(純額)	45,243	41,718
土地	68,836	68,836
有形固定資産合計	286,615	277,816
無形固定資産		
のれん	202,425	191,894
ソフトウェア	37,380	36,405
その他	3,103	2,340
無形固定資産合計	242,910	230,641
投資その他の資産		
投資有価証券	50,364	17,343
繰延税金資産	109,890	92,713
その他	153,342	152,608
投資その他の資産合計	313,598	262,665
固定資産合計	843,123	771,123
資産合計	5,261,249	4,912,114

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	226,822	378,127
短期借入金	135,000	145,000
1年内返済予定の長期借入金	75,960	75,960
未払金	278,686	197,304
未払費用	427,226	182,987
未払法人税等	89,389	32,311
賞与引当金	29,056	70,059
受注損失引当金	—	9,533
アフターコスト引当金	5,850	5,850
その他	162,364	211,383
流動負債合計	1,430,355	1,308,517
固定負債		
長期借入金	325,694	287,714
その他	44,734	44,928
固定負債合計	370,428	332,642
負債合計	1,800,784	1,641,160
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,219,291	1,258,509
利益剰余金	1,287,205	1,059,138
自己株式	△36,804	△27,668
株主資本合計	3,162,942	2,983,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,188	1,324
その他の包括利益累計額合計	2,188	1,324
非支配株主持分	295,334	286,400
純資産合計	3,460,465	3,270,954
負債純資産合計	5,261,249	4,912,114

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	2,638,516	2,730,802
売上原価	1,699,302	1,835,601
売上総利益	939,214	895,201
販売費及び一般管理費	758,909	861,332
営業利益	180,304	33,868
営業外収益		
受取利息及び配当金	171	410
為替差益	2,544	—
その他	2,051	2,437
営業外収益合計	4,767	2,847
営業外費用		
支払利息	2,706	2,615
為替差損	—	961
その他	876	4
営業外費用合計	3,582	3,581
経常利益	181,489	33,134
特別損失		
その他	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前中間純利益	181,489	33,134
法人税、住民税及び事業税	17,740	10,316
法人税等調整額	51,611	17,645
法人税等合計	69,351	27,962
中間純利益	112,137	5,172
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△1,689	△3,430
親会社株主に帰属する中間純利益	113,827	8,602

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
中間純利益	112,137	5,172
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	276	△863
その他の包括利益合計	276	△863
中間包括利益	112,414	4,308
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	114,103	7,738
非支配株主に係る中間包括利益	△1,689	△3,430

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	181,489	33,134
減価償却費	25,847	24,053
のれん償却額	839	10,531
株式報酬費用	11,340	14,083
賞与引当金の増減額(△は減少)	31,592	41,003
アフターコスト引当金の増減額(△は減少)	△2,766	—
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	9,533
受取利息及び受取配当金	△171	△410
支払利息	2,706	2,615
売上債権の増減額(△は増加)	2,652	△60,823
棚卸資産の増減額(△は増加)	△309,997	△374,141
仕入債務の増減額(△は減少)	10,350	151,193
その他流動負債の増減額(△は減少)	△269,381	△169,729
その他	△100,890	△80,646
小計	△416,389	△399,602
利息及び配当金の受取額	147	608
利息の支払額	△2,602	△2,448
法人税等の支払額	△149,932	△93,371
法人税等の還付額	14,885	37,495
営業活動によるキャッシュ・フロー	△553,892	△457,318
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	5,200	4,800
有形固定資産の取得による支出	△56,275	△6,417
無形固定資産の取得による支出	△2,593	△7,902
敷金及び保証金の差入による支出	△500	△265
敷金及び保証金の回収による収入	35,814	98
投資有価証券の売却による収入	—	1,989
投資有価証券の償還による収入	—	30,566
その他	—	△840
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,354	22,027
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	10,000
長期借入金の返済による支出	△31,200	△37,980
配当金の支払額	△126,434	△234,960
その他	△1,801	△5,362
財務活動によるキャッシュ・フロー	△109,435	△268,303
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△681,682	△703,594
現金及び現金同等物の期首残高	3,016,782	2,934,516
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,335,099	2,230,922

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額(注)	合計
	ITソリューション事業	ITインフラ事業	ITサービス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,460,970	509,160	668,385	2,638,516	—	2,638,516
外部顧客への売上高	1,460,970	509,160	668,385	2,638,516	—	2,638,516
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,987	—	113	2,100	△2,100	—
計	1,462,957	509,160	668,498	2,640,617	△2,100	2,638,516
セグメント利益	91,463	73,399	44,099	208,962	△28,657	180,304

(注) 1 セグメント利益の調整額△28,657千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△26,995千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の上場維持に係る費用等でありま

す。  
2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額(注)	合計
	ITソリューション事業	ITインフラ事業	ITサービス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,610,066	427,977	692,758	2,730,802	—	2,730,802
外部顧客への売上高	1,610,066	427,977	692,758	2,730,802	—	2,730,802
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,083	—	249	21,333	△21,333	—
計	1,631,149	427,977	693,008	2,752,135	△21,333	2,730,802
セグメント利益又は損失(△)	△27,802	36,816	53,166	62,180	△28,311	33,868

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△28,311千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△29,217千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の上場維持に係る費用等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。